

クラス	TU105	担当教員	小林 信次
テーマ	教育と教育実践		
著書・論文	『自立に向けた学びの追求～ゼミ活動を通じた学びの構築～』（日本福祉大学子ども発達論集2011）		
研究課題等	『少年期をいきいきと』（日本書籍1992）		
	『若い朝』小説（ほっとブックス2006）		
	『授業上達のシナリオ』（あゆみ出版1994）		
	『「ごんぎつね」の読み方指導』（明治図書1991）		
	『子どもといっしょに読みたい詩・2集』（共著）（たんぼぼ出版2006）		
	『この星の呼吸・詩集』（たんぼぼ出版2008）		
ゼミナール概要			
キーワード：教育と教育実践 教師の実践と授業 文学と詩			
<p>目的、内容、方法、授業計画等：</p> <p>専門演習のキーワードに「教育と教育実践」「教師の実践と授業」そして、「文学と詩」を取り上げました。目的・内容は、教師をめざす「子ども発達学部の学生」として、「教師・保育士」としての実践力をつけることを第一に考えたゼミ活動として運営していきます。ゼミの中心は、教師としての力量づくり、教師としての内面づくりという課題がありますが、まだ、教師になることに迷っている学生も、「文学と詩」なら共通して学べるのではないのでしょうか。</p> <p>私は、長い間、現場の教師として、子ども達と共に、授業をやり、生活指導・集団づくりをやってきました。3年・4年の専門演習に関わるということで、私の体験や経験を生かしていきたいです。全国には、多くの優れた実践記録が残っています。それらを、ゼミの場で取り上げて、どう身につけていけるのか、分析力や実践力がついていくような共同的な学びの場にしたいです。</p> <p>「文学と詩」については、ゼミの学生の興味・関心のあるものを取り上げて、「読み」を深めたいです。なお、小説や詩の創作も試みてみたいです。</p> <p>方法など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践記録の読みや分析を通しての学び ・教師としての実践力をつける実演的な学び ・文学・詩を通しての学び ・現場との交流を通しての学び ・学びが生きる就職・生活設計 			
担当教員からのメッセージ			
<p>演習では、3年次で土台を築きながら4年次へそれを引き継いでいきます。3年次で「教師・保育論・教育実践力」と「授業」「文学・詩」など広く深く研究します。</p> <p>文献の検討、実践の分析を基に教師論、授業論について検討していきます。できるだけ学校現場との交流や訪問なども企画していきたいです。なお、文学については、ゼミの中で希望する作品について取り上げて研究深めてみたいです。できたら小説や詩の創作も余裕があれば挑戦してみたいです。4年次になると教育実習や卒論への追求も課題となるので、広く、深く読み込み、書き込んでいくことを積み上げます。</p> <p>また、教職採用試験にも関心を向ける活動の場にしたいです。</p> <p>現場では、いろんな条件の下で、教師としての力を発揮できにくい状況もありますので、他の授業や体験が総合的に生かされるようなゼミ活動をやりたいです。</p> <p>ゼミ生の主体的な活動と共同的な学びになるように「楽しさ」「ふくらみ」「つながり」「学び」を軸にした行事なども創造的に作りだしたいです。</p> <p>青春の日々にいる学生・若者と共に切り開いて創造的なゼミにしていきましょう！！</p>			